



秋政展望台 第2展望所からの日の出 撮影：綾順博

新年のご挨拶

皆様、輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。
昨年は、コロナに振り回された1年でした、年末に終息の兆しが見えてほっとした頃「オミクロン株」が現れて心配は絶えません。
お正月の人流で、どう変わるか?日本人のきれいな好きな性格と、3密を避けて生活する生活習慣、マスク着用で何とか押さえ込む事を期待する所です。
そして、この先の生活様式に向けて様々なプランを練り上げて行かなくては成りません。正しく恐れ、共生の道を探る、そんな1年に成ることを期待するばかりです。
皆様にとってより良い1年に成ることを御祈念申し上げます。

諸塚村観光協会 理事長 尾形 浩一

エコツアー
諸塚でやま学校しよう!
第184回
古の技を知る!
日帰りコース

日本ミツバチのみつろうで! やさしいリップづくり

諸塚のおいちゃん達の趣味、日本ミツバチの養蜂。
採蜜後の巣をいただいて、みつろうを作ります。さらに、みつろうでリップやボディクリーム・エコラップ作りも!自然素材で、体と環境に優しい冬を過ごしましょう。

詳細

開催: 2022年1月16日(日)	会場: 諸塚村内
時間: 10時~15時 しいたけの館21集合	代金: 4,000円/1セット (昼食代・ガイド代・体験料込) ※料金は全て税込です。 ※1セットをお連れ様と一緒に体験 されたい方はご連絡ください。
定員: 10名※先着順 最少催行人数 5名 ※現地ガイド同行有	申込期限 1月9日(土)

エコツアー
諸塚でやま学校しよう!
第185回
古の技を知る!
日帰りコース

原木しいたけ狩りと コマ打ち体験

しいたけ農家さんのほた場で、原木から生えているしいたけを、手でもぎ取る!美味しそうな椎茸を探し始めると、どっぶりハマるしいたけ狩りと、生産者の気分になれるコマ打ちを体験。コマ打ちした原木は、お持ち帰りOK!

詳細

開催: 2022年2月12日(土)	会場: 諸塚村内
時間: 10時~15時 しいたけの館21集合	代金: 4,000円/人 (昼食代・ガイド代・体験料込) ※料金は全て税込です。 ※小学生までのお子様の代金は お問い合わせください。
定員: 10名※先着順 最少催行人数 5名 ※現地ガイド同行有	申込期限 2月5日(土)

お申込・詳細はコチラ

「もろつかナビ」で検索 🔍

〈発行元〉 送付をご希望の方、送付中止をご希望の方は下記へ
〒883-1301

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 3068 しいたけの館 21 内
一般社団法人 諸塚村観光協会 まちむら応縁倶楽部

TEL:0982-65-0178 FAX:0982-65-0189

ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp



情報発信中! /

もろつかストア
Instagram
twitter
facebook
YouTube



しぜんと、
つながる。



諸塚村
Morotsuka Vill.

番外編

森の村から未来を描く

新時代を生きる諸塚のわけもん達

vol.9

諸塚村の子どもたち × 東京在住のアーティスト

ReArt Ship プロジェクト



一まちのアーティストとオンラインでつながる

やまとまちをつなぐ関係人口づくりを目指し、この秋からスタートした新プロジェクト。第1弾は、昨年度までで廃校となった旧七ツ山小学校の教室を舞台にして10月30日に実施されました。この日諸塚から集まったのは、小中学生12名。東京からオンラインで参加するアーティストは、サッカー選手でもある能登正人さん。東京谷中の諸塚村交流拠点「さんさき坂カフェ」さんの協力を得て、10月から12月にかけて3回にわたってアートワークショップが開催されました。

初回は、特殊な溶剤を混ぜたアクリル絵具を使って「フルイドアート」にチャレンジ。選んだ色の組み合わせや各色の量・キャンバスへの垂らし方などで表情が大きく変わるこの手法。それぞれに個性的な、唯一無二の作品の数々が生まれました。作品は七ツ山小跡や東京で展示され、さらに、Tシャツやハンカチなどのグッズに展開し子どもたちの暮らしに届ける計画も。2回目・3回目もまた新たなアーティストの方々とつながり、アート体験が広がりました。

気になる作品はコチラでチェック!!

Instagram @morotsuka_art

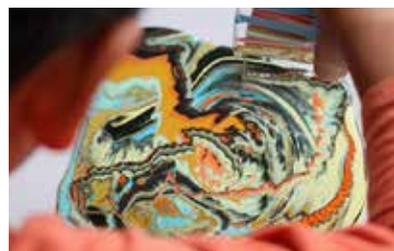
<https://ycstudent7.wixsite.com/yamatomachi>

田邊

What's about

Art(芸術)を切り口に、新たな人と人のRelationship(繋がり)を生み出し、山とまちの連続性を回復するShip(舟)となることを目指す。かつて山村と町の物流を担い、人々の暮らしを繋いだ高瀬舟のように、山(諸塚村)とまち(都市部)を繋ぎ、Art体験を通じた新たなRelationshipを。

オンラインを活用した子ども向けアートプログラムの提供や作品の都市部展示などを行うことで、暮らす場所に関わらず誰もが芸術体験に夢中になれる環境を創ります。



お知らせ

森のおすそわけに

おひまち蕎麦のそば粉が登場!

山間の小さな平地を利用した小さな農地や棚田を使い、自然の営みと共生しながら作っている多品種少量の農産物。少量のため欠品になりやすく、通常の流通には乗りません。そんな少量限定の商品を、諸塚村にご縁のある方や少量でも大丈夫という方に届けるプロジェクト「森のおすそわけ」。

もち麦と昔とうきび・もちあわに続く第3弾は、諸塚村で最も標高が高い(800mほど!)集落のひとつ、奥畑(おくばた)で育てられたそば粉。

100年以上続く、祈りが込められた「おひまち」の日に食べる新蕎麦のそば粉を、20セットだけ分けていただきました。

山でもよく育つ蕎麦は、諸塚村では昔から大事な食べ物。

大切な行事やお祭りなど、ハレの日に振る舞われる定番です。

蕎麦がきに蕎麦だご、ガレットやクッキーにも変身するそば粉。

どんなメニューにしようか、どのレシピを試してみようか。悩んだ時間も失敗も楽しい思い出。大切な日に蕎麦を打って、大切な人へ感謝を伝えてみませんか。

ご注文は「もろつかストア」から!

<https://morokan.stores.jp/>

奥畑のこと、おひまちのことはコチラ

<https://morotsuka-campaign.studio.site/ohimachisoba>



おひまち蕎麦の
そば粉



移住者の目で見ると、諸塚の人と自然をお届けします。

夏に荒地を野焼して蒔いた蕎麦を、霜が降りる前に手刈りで収穫しました。昔ながらの手仕事で畑を作るところから蕎麦を食すまでやり遂げよう、と村の仲間で始めた蕎麦畑。山で集めた榊や黒文字、竹で手作りしためぐり棒を振り回して蕎麦を脱穀し、唐箕で選別、石臼で挽いて、そば粉ができました。一生懸命時間をかけて作業をしても、わずかな量にしかなりません。そのわずかな粉を蕎麦がきにして味わったとき、ただ、お店へ行って食べるのでは味わえない感情が湧いてきました。大変な農作業も皆でやれば苦勞と感じず、皆で分かち合う達成感や喜びもひとしお。日頃何気なく食べていたものを自分たちの手で種を蒔いて育て、ありがたみが収穫できた体験でした。



▲手作りのめぐり棒で脱穀

農作物の収穫を終え食物のありがたさを味わった後、寒くなってきたころにやる昔ながらの手仕事が葛で籠づくり。世界で一つだけのモノに愛着を持って使い続けるって素敵じゃないですか。山はそんな暮らしを作る材料の宝庫。ですが、籠に適した真っ直ぐな葛を探し出すのは一苦勞です。籠を編む技も受け継がれずに忘れ去られてしまいそうな今日、もっと皆で昔(自然)にかえる遊びを楽しんでいきたいです。

金子

VIEW SPOT

村内を走っていて一番楽しいのが九郎山林道。普段は林業のトラックぐらいしか走らないこの道ですが、絶景絶景また絶景で車が進みません。これは、日之影との町村境付近から眺めた諸塚村。

岩切

ご報告

諸塚村最高峰！ 黒岳登山

2021年11月7日 開催

エコツアー
諸塚でやま学校しよう！

第182回

えんぱくコラボ
日帰りコース



▲ 幻想的な山の中



▲ お弁当とお団子

キャンセル待ちとなる程多くの問い合わせをいただいた黒岳登山でしたが、当日は残念ながら雨。それでも予定どおり8名の参加者が集まり、黒岳登山へ。雨の中足場に気を付けながらの登山となりましたが、霞がかかった紅葉の景色は幻想的でした。山頂からの景色は望めず、終始雨も降り続いていたため、山頂で昼食はとらず下山しました。下山後、登山口東屋で七ツ山加工グループ特製のおにぎり弁当と黒岳会が作る黒岳だんごをいただきました。竹の皮に包まれたお弁当やよもぎの香りのするだんごは、自然や手作り感を味わえると好評。体を動かしていないと寒さに震える天気、のんびりと山を楽しむことはできませんでしたが、悪天候の中登頂した達成感を味わったやま学校でした。

ご報告

椎茸ステーキと 柚子ごしょう作り

2021年11月14日 開催



▲ 野外特設スタジオ

諸塚村の大自然で育った新鮮な材料をやま学校生にお届けし、オンラインと一緒に柚子ごしょうや椎茸ステーキ作りを楽しんでもらいました。材料はほぼすべて甲斐信子さんの田畑で収穫したもの。

農家民宿「新家」さんをスタジオに、信子さんの畑の風景や収穫をする姿、青柚子ごしょう作り、しいたけ(クヌギの森風景や信子さんの話)の動画を通じて、届いた食材と人・自然のつながりを少しでも感じてもらえたのではないのでしょうか。諸塚村の風景をバックに諸塚村の食材を味わってもらい、諸塚らしいオンラインやま学校になったのではないかと思います。



▲ 出来上がったお料理を試食

ご報告

かずらを編んで♪カゴ作り

2021年12月4日 開催

エコツアー
諸塚でやま学校しよう！

第183回

えんぱくコラボ
日帰りコース



▲ みんなでカゴづくり

まずは秋政展望台へ。風が冷たく寒かったものの、天気恵まれ眺望を楽しんでもらえました。展望台周辺の木々に絡みついた葛を各自探して採取する時間は、皆さん童心にかえって楽しんでいるようでした。

午後は、池の窪グリーンパークでカゴづくり開始。簡単な作り方の説明の後、各自が思い思いの作品作りに取り掛かりました。太い葛と細い葛を組み合わせたり、其々の個性ある作品ができあがっていきました。

新年が、希望を持てる年に成りますように 尾形

編集後記

香港の大学生向けに、宮崎の農家民宿の魅力を紹介するセミナーを実施しました。本来だと今年、教育旅行で来県いただく予定だった皆さん。色々制約の多い状況下ですが、一方で距離を飛びこえ繋がる機会も増えています。 田邊
今年もまた、あつという間の1年でした。気づけばもう“冬至”…カボチャを食べて柚子風呂に入って温まりたいと思います！
今年も大変お世話になりました。来年もまたよろしく願いいたします☆ 黒木

青空と秋風が心地よかったのも束の間、秋の装いを飛び越えて冬のコートに纏いたくなる程一気に冷え込んだ秋でした。冬の寒さはまだこれから、、、今年の冬は寒くなりそうですね。 金子

いただいた蜂の巣を煮てひたすらみつろうを採り続けています。2022年は、ミツマタ原料の和紙作りに挑戦！ 岩切